



## The New Color of Money Safer. Smarter. More Secure.

[www.moneyfactory.gov/newmoney](http://www.moneyfactory.gov/newmoney)

### お金に関する豆知識

**名称の由来：**南北戦争の費用捻出のため、米国政府により 1861 年に発行されたみどり色の裏面の無利子証書の約束手形は、その色から「greenback」（みどり紙幣）とニックネームが付けられました。

**不朽の価値：**1861 年以降に米政府によって発行された紙幣は、すべて法定通貨として使用することができ、額面通りの価値があります。米国は一度もその価値を切り下げたことはありません。

**色の復活？：**2003 年に新しいデザインの 20 ドル紙幣が導入されるまでは、薄い金色が施された 1905 年シリーズの 20 ドル金証券が、背景色を伴った最後の米国紙幣でした。

**女性の肖像画：**マーサ・ワシントン (Martha Washington) は、米国紙幣に肖像画が描かれた唯一の女性です。その肖像画は 1886 年、1891 年、1896 年に発行された 1 ドル銀証券に描かれています。

**一番高いお札：**造幣局によって発行された一番高価な紙幣は、1934 年シリーズの 10 万ドル金証券です。この紙幣は一般の市場には出回らず、連邦準備銀行と財務省間の取引にのみ使用されました。

**「In God We Trust (神への信頼)」：**この一文が初めて採用されたのは、1864 年の米国貨幣でした。約 1 世紀を経て、議会はこれを公式の国家モットーとし、米国の貨幣と紙幣の両方にこれを施すことが義務づけられました。このモットーの使用は、数年に渡って何度もその是非が裁判所で争われてきましたが、1977 年の最高裁判所を含む、数々の裁判所で幾度となく支持を受けてきました。

**紙幣はここから始まる：**1862 年の 2 月から、肖像画を含む紙幣のデザインは、財務省長官の責務とされてきました。新 10 ドル札のデザインはジョン・W・スノー (John W. Snow) 現長官により承認され、2006 年 3 月 2 日に発行されました。



**故人の肖像のみ**：1866年から紙幣には存命中の人物の肖像画を載せてはいけなと、米国法で決められています。

**持続する権力**：1929年から米国紙幣には同じ歴史的人物が描かれ続けています。

**紙幣の再利用**：市場に出回った紙幣の一部は、連邦準備制度によって回収され、再生されて事務用品になっています。

**第10地区**：カンザスシティー連邦準備銀行は連邦準備制度の第10地区で、偶然にも、ミズーリ州カンザスシティーの10丁目とグランドブルバードの交差点角に位置しています。第10地区の主要都市は、カンザスシティー、デンバー、オクラホマシティー、オマハです。

**署名の苦しみ!**：1861年、米国政府が最初に紙幣を発行した際、すべての約束手形は財務省登録局の代表らと財務官の手によって1枚1枚に署名されていました。非実用的な行為であることから、紙幣への署名の印刷を議会に承認させるという制度が生まれ、この決定は1862年発行の米国紙幣の最初のシリーズから採用されました。

**「1」は最も少ない数字ではない**：最も多く発行されているのは、1ドル札です（1ドル札は全体の45パーセントを占めます）。

**巨大な「お金ベルト」**：米国紙幣は1年間に80億枚が発行されています。これは地球の赤道を30回以上巻くのに十分な数です。

**1マイルの高さのお金**：1マイルの高さの紙幣の山は、1450万枚分のお金に相当します。

**ところ変われば品変わる**：国内で最もよく使われている紙幣は1ドル札と20ドル札なのに対し、海外で一番使用が多いのは100ドル札です。

**1ポンドの重さには…**：額に関係なく、お札一枚の重さはだいたい1グラム。1ポンドは454グラムですから、1ポンドは454枚のお札ということになります。

**赤、白、青**：自然な色の米国紙幣は25パーセントの亜麻と75パーセントの綿でできています。様々な長さの赤と青の合成樹脂で、紙幣は均等に染められています。

**丈夫!**：米国紙幣は二つ折りを4000回以上繰り返さないと破れません。

**ハミルトンの歴史**：アレキサンダー・ハミルトンの肖像画が米国紙幣に初めて登場したのは、1861年の5ドルの要求払い約束手形でした。